

新型コロナウイルス感染症への注意喚起 その5

軽症の陽性者と診断されたらどうなるの？

ご自身 でチェックする項目 (①～⑨)		ご家族や同居者 でチェックする項目 (⑩～⑬)	
表情・外見	① 唇が紫色になっている	表情・外見	⑩ 顔色が明らかに悪い
息苦しさなど	② 息が荒くなった(呼吸数が多くなった)		⑪ いつもと違う、様子がおかしい
	③ 急に息苦しくなった	意識障害など	⑫ ぼんやりしている(反応が弱い)
	④ 生活をしていて少し動くと息苦しい		⑬ もうろうとしている(返事がない)
	⑤ 胸の痛みがある		
	⑥ 横になれない・座らないと息ができない		
	⑦ 肩で息をしている・ゼーゼーしている		
意識障害など	⑧ 突然(2時間以内を目安)ゼーゼーしはじめた		
	⑨ 脈がとぶ、脈のリズムが乱れる感じがする		

⑩～⑬につづく

制作: 新型コロナウイルス感染症に関する専門家有志の会

制作: 新型コロナウイルス感染症に関する専門家有志の会

①～⑬どれか1つでも当てはまったら
すぐに窓口へ連絡!

新型コロナウイルスに感染しても、症状が軽い方や出ない方がほとんどです。ただ注意しないとイケないのは、はじめは軽症でも急激に症状が悪化することがあります。このため東京都では、医師が入院の必要がないと判断した軽症の新型コロナウイルス感染症の方は、原則都が用意したホテルで療養していただくこととなっております。お子さんがいらっしゃるなど事情によってご本人が希望された場合は自宅療養となります。

都内の療養ホテルは4/7の東横INN(中央区)を皮切りに、東急RIEホテル(港区)、品川プリンスホテル(品川区)が続き、5/1にはAPAホテル&リゾート両国タワー(墨田区)とホテルthe b八王子(八王子市)でも受入れがはじまりました。ホテルには看護師が24時間常駐して健康管理をしており、医師も8時30分から17時30分の間毎日待機しています。八王子のホテルは周辺8市の医師会で担当しており、小金井市医師会の医師もローテーションを組んで勤務しております。療養中は体調の変化や体温・酸素飽和度(機械が各部屋に配られます)を1日2回ほど看護師に報告していただきます。万が一症状が悪化するきざしが見られた際は医師の判断のもとすみやかに病院に搬送されます。宿泊費や食費はかかりません。このように体制は整っておりますのでご安心ください。症状の悪化がなければ2週間のホテル療養ののち自宅に戻ります。今のところ東京都では病院に入院されていた方が軽症となってホテルにうつられた場合は、退所基準が異なります。もし自宅に戻った後に症状が悪化することがあれば保健所に連絡してください。

ホテルに入らず自宅療養することになった方も、毎日ご自身で体調や体温を確認し、調子が悪い場合はすぐに保健所に連絡してください。ご自身やご家族でチェックしていただく項目は上記赤枠の中をご確認ください。これらの項目に1つでも当てはまれば、様子を見ずにすぐに連絡していただきたいと思っております。

連日メディアから玉石混交の情報が報道され、不安を感じていらっしゃる方も多いと思います。簡易検査や治療薬、ワクチンの早期開発が望まれますが、きちんとした評価なしに承認して乱用すると薬害など別の問題がおこる危険があります。医師会では標準治療の確立にむけ、速やかな対応と安全性の確保の両面を視野にいれながら検討しております。

未知のウイルスへの恐怖、自粛の長期化、経済的不安などストレスはピークに達してきていることと思います。電話やオンラインでご家族や友人と話したり、普段テイクアウトできないお店のお料理をいただいたり、たまっていた本を読んだり録画をみるなど、これまでとは違った生活の楽しみを見つけられればと思います。皆様が少しでも安心できる体制を作れるよう、小金井市医師会も日々取り組んで参ります。